**がん定義の説明**

1、2に関しては、病名のみに着目しています。がんの傷病名はがんの治療を実施する際に必要なのでがんの治療中の方にはついていると思われますが、一方で、治療が終了している人や経過観察が終了している人などにも傷病名が付いている可能性があります。そのため、病名のみの集計数はがんに対する治療を受けているID数としては数が多くなっています。3の傷病名と診療行為・医薬品の組み合わせが、新規発症か再発かを問わずに、がんに対する何らかの治療を期間中に受けているID数としては最もID数が絞れていて、特異度が高いと思われます。一方で、がんはあるものの、治療を行なっていない人や定期的な検査による経過観察のみを行っている人などは含まれていないと考えられます。

ID数推移[月次]に記載されている各がんの処方件数（化学療法）は、全がんのうちで化学療法を実施したID数になっているため、がん種に依らずすべて同じ数値になっている。